

# NOROCON Mortar

## アジテータ・重機・型枠・タイルの セメント汚れ 他



業務用

モルタル/エフロレッセンス/ノロ の除去

タイルの仕上げ処理

化学薬品を通して世の中がもっと便利になる。それってすごいこと。

特殊洗剤 NOROCON シリーズ —— 狙った汚れを洗剤で取り除く ——



インターロッキングブロック (ILB) の内部のエフロまで除去！！

スケールをとって、最後の仕上げをもっと綺麗に？

綺麗に落としたつもりなのに・・・そっれってまだ汚れています。



### 用途

- ①建設機械・アジテータ車・足場・鋼製型枠等に付着したコンクリートの汚れの除去
- ②その他、スケール・さび染み・ノロ等の汚れ除去
- ③石材・タイル目地、階段部分や玄関、壁面からにじみ出たエフロ(白華スケール)の除去

### 特長

- ・有機酸を主成分としており人と環境に優しい洗剤
- ・鉄・ステンレス等の金属への影響が少ない成分
- ・腐食性を抑えてありますので、金属に付着したコンクリートや水垢などのスケール除去に適しています。
- ・表面張力(mN/m)調整による高い浸透性

### 主な成分

有機酸・腐食防止剤

### Product Details

業務用 4 Kg

製品有効期限：未開封冷暗所保管で購入より 180 日  
 \*使用量は基材や除去対象の状態により異なります  
 設計価格 (List price) : 4Kg

# 001

コンクリートノロを効果的に溶解する  
NOROCON MORTAR

### 使用方法

- 業務用の為、ご使用前に必ず安全データシート(SDS)を確認し、よく理解した上で使用を開始して下さい。
- 洗剤液を希釈する場合には水で濃度調整したものを使用します。
- \*施工する前に必ずテストをして素材への影響の有無を確認後施工をはじめますはじめます。(酸に影響を受ける素材は要注意)
- ①本剤を先ずは原液のまま汚れ部分に、化学繊維100%の刷毛またはナイロンブラシ、スポンジでこするように汚れ部分に塗布。  
汚れの状況に合わせて適切に希釈する。
  - ②本剤を塗布後しばらく(2-5分程度)反応時間を置き、汚れの具合に応じてブラッシングを行う。  
反応中は泡が発生して内部に浸透していく。
  - ③付着汚れが除去出来るまで②の作業を繰り返す。  
\*余剰分の本剤はスポンジ等で回収する。
  - ④最後は本剤が残らないようしっかり水洗いする。  
現場の状況によっては、中和剤のご用意もごさいます。

### 使用上の注意

酸性

- ・使用に際しては、保護手袋・保護メガネ・保護マスク・長袖シャツ等を着用し、目や皮膚に付着しないよう防護処置をしてください。万が一付着してしまった場合には直ぐに水洗いをして下さい。
- ・本剤は金属への影響を抑えてありますが、影響がゼロというわけではありませんので目立たないところで試してから使用して下さい。
- ・施工部分以外に本剤が付着しないように注意し、付着してしまった場合には放置せずすぐに水洗いをしてください。
- ・一度小分けしたものを、希釈液は元の容器に戻さないで下さい。(原液・希釈液ともに)
- ・洗浄後の水は排水に十分注意の上、大量の水で流して下さい。
- ・使用した機材は直ぐに洗浄して洗剤を残さないようにして下さい。

ILB 未使用品 (ブロックイメージ断面図)

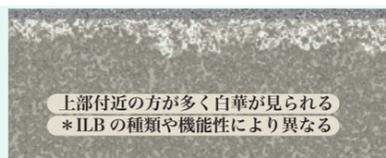


ILB は機能性、意匠性へ共に優れたブロックであるが、その特長から、空壁が多く、施工方法や、周囲の環境により白華現象が非常に発生し易い。

特に表面白華している部分は、結晶が阻害し透せず、雨水を浸透しない状態となり、本来の機能性も失う。

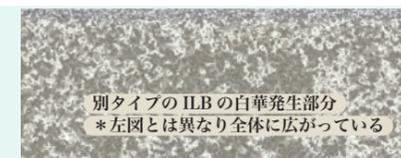
point!

ILB 白華発生品 イメージ1 (ブロック断面図)



上部付近の方が多く白華が見られる  
\*ILBの種類や機能性により異なる

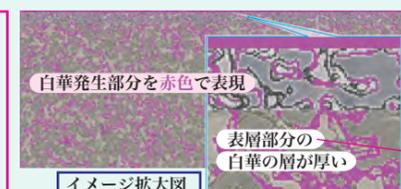
ILB 白華発生品 イメージ2 (ブロック断面図)



別タイプのILBの白華発生部分  
\*左図とは異なり全体に広がっている

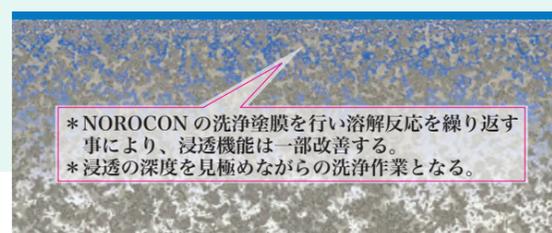
■ILB  
材質や形状、施工方法を含め数多くのバリエーションが存在する。

- 表面形状 → スリット、自然石、顔料有無、粒径等
- 性能 → 透水性、保湿性、遮熱性等
- 施工材料 → 敷砂、目地砂、モルタル、樹脂等



イメージ拡大図

ILB NOROCON を青で表現 (ブロック断面図)



\*NOROCON の洗浄塗膜を行い溶解反応を繰り返す事により、浸透機能は一部改善する。  
\*浸透の深度を見極めながらの洗浄作業となる。

ILB の表面に、NOROCON Mortar を刷毛で塗膜

ILB の表面の凹凸へ内側まで浸透する事で白華部分をより深く除去。

下さい。本剤を残したまま長時間放置すると変色する恐れがあります。

・使用する機材は酸性洗剤と、アルカリ洗剤と区別して下さい。

### NOROCON - bits of information:

#### エフロレッセンス(白華)という現象って?

- エフロレッセンス (白華現象) が表出する主な原因は、水がタイル等の裏側へ入ると、モルタル中の水酸化カルシウム Ca(OH)<sub>2</sub> が、浸入した雨水などに溶けて目地部やクラックから滲み出てきます。それが空気中の炭酸ガスと反応して炭酸カルシウム CaCO<sub>3</sub> となったものです。
- カルシウムだけではなくマグネシウムやナトリウム類が混じることもあり、白く変色したように見えるので施工主様からのクレームとなりやすい現象です。はなたれ や粉吹きとも言われ鍾乳洞で鍾乳石が出来るのと同じ原理です。
- また吸水性で多孔質の無釉タイルや貫入の多く入ったタイルを使用した場合、ILB (インターロック等) を使用した場合、水は接地面や表面より吸い込み石灰成分を溶かして表面に引き出します。この場合は目地部から出る白華と異なりタイル前面に広い範囲で薄く白っぽく変色した様になります。これらは『NOROCON』で洗浄を行えば一時的に除去することが出来ますが、後日また再発する為、綺麗に白華を除去した後、水の浸入箇所を補修する必要があります。
- 白華が出ない様な下地の選定と素材の選定、施工方法、表面コーティング (ケイ酸塩系) 等の併用が大切です。

#### エフロと温度(°C)

- 低温の場合の方が水酸化カルシウムが水に溶けやすく、それが乾燥により表面に析出しやすくなり空気中の炭酸ガスと反応します。特に秋から冬にかけて発生しやすく、建物の日陰や北側にもエフロレッセンスが多くみられます。

#### エフロが発生しやすい場所

雨水などの進入から発生することが多く、乾いたり濡れたりを繰り返す場所が、エフロレッセンスの発生しやすい箇所となります。目地やクラックの周辺の一部に特に発生しやすく、砂岩・大理石・レンガや透水性が高い建材 (ILB 等) の場合は、エフロレッセンスが析出しやすい傾向にあります。常に濡れている建材からは炭酸カルシウムが生成されにくい為、エフロレッセンスは発生しにくい箇所となります。

必要に応じて、実検体でのラボ試験を実施致します (要相談) info@norocon.net

販売代理店: